

このまち 津市で輝く

Vol.40



市場を切り開いた お風呂文化と女性の声

一本の糸がタオルになるまでの全工程を自社一貫生産で行うおぼろタオル。日本3大タオルと称されるこのタオルは、従業員62人が支える津市の工場から、世界へと出荷されている。

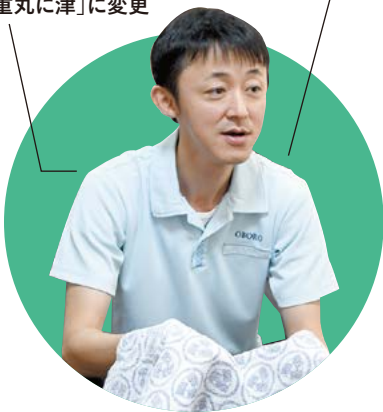
明治41年、森田さんの曾祖父が、当時無地だったタオルの緯糸だけを染める技法を開発。乾いている時はおぼろげな柄が、濡れると鮮明に浮かび上がる。その美しさに加え、一般的なタオルに使われる約半分の細い糸で織ることによって生じる吸水性と速乾性が、日本のお風呂文化とともに愛されてきた。

「細い糸は織ることが難しく、生産効率は下がります。でも当たり障りのない商品の先にあるのは価格競争だけ。町工場が生き抜くため、あえて時間とコストをかけた」と、森田さん。さらに、良い商品はいつの時代も女性の声から生まれたという。創業時は芸者さんのおしろい落とし、現在は赤ちゃんを包み、顔を拭うタオルとして、もっと柔らかく、きめ細かく…。その思いが市場を切り開いてきた。

「国産タオルが次々と消えゆく今、ぼくはこの歴史を次世代につなぐバトンの渡し手にすぎない。これからも、曾祖父のように故郷や従業員に感謝して、使い手に喜ばれるものを作り続けたい。それが技術の継承と津市ブランドの誇りにつながると信じています」

知ってた？
津は今治、泉州と並ぶ
日本3大タオル産地！

故郷への感謝を込め
昨年、自社ロゴマークを
「3重丸に津」に変更



おぼろタオル取締役
森田 壮 (40)
Tsuyoshi Morita

“日本3大タオル”の 技術と誇りを次世代へ

PROFILE

1979年津市生まれ。名古屋のデザイン専門学校を卒業後、市内の印刷会社に勤務。結婚を機に自身のルーツをたどり、おぼろタオル創始者である曾祖父の功績に感銘を受ける。2005年おぼろタオル株式会社に就職、工場勤務・営業職を経て2017年に取締役に就任。

広告掲載欄

ひんやり涼しい無垢の床。素足でくつろぐ快適さ。【広告】
当社自慢の地熱床システムを活用した、快適な住まいのご提案。



ユニバーサルホーム 津店 ▲津店詳細はこちらから！
059-223-7001 津市垂水261-1 中日新聞津ハウジングセンター内
営/9:30-17:30 休/毎週火曜日・水曜日

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、裏表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。

【広告】
税理士法人 心 夜間・土日祝相談可 (要予約)
相続・会社設立・税務顧問・税務申告・税務調査 他
心グループ一丸となってサポートいたします！
※主たる事務所は名古屋税理士会所属 ※<内は、各所属税理士会名 ※本広告は、令和元年6月時点のものです
津駅 0.5分 松阪駅 1分 他
平日9時~22時・土日祝9時~18時 受付
0120-81-2403 詳細は ⇒ http://kokoro.ac

広報つ！

毎月1日・16日発行

- 編集・発行
津市政策財務部広報課
〒514-8611
西丸之内23-1
☎059-229-3111
FAX 059-229-3339
- 印刷
寿印刷工業株式会社